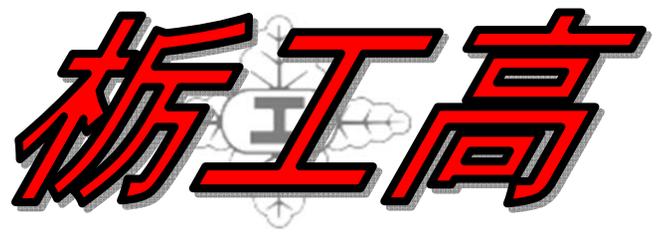




栃木県立栃木工業高等学校

《福祉と工業を結びつけた人間教育を目指す高校》



1 栃木工業高等学校の概要

(1) 創立 昭和37年

(2) 校風

ア 校訓 **和顔愛語** (いつもやわらいだ顔で相手方の心をくみとり、相手方の心持ちを察して、その人に接するということ)

イ 教育目標 国際社会を生きる心豊かな人間性を養い、地域社会から信頼され期待される工業人を育成する。

主体的な実践力の育成 個性の伸長 情操の涵養

ウ 生徒指標 技術を学び 心身を鍛え 友愛を深める

(3) 学科の構成とクラス数・在籍者数(平成27年4月現在)

科名	クラス数			科別在籍数
	1年	2年	3年	
機械科	2	2	2	239
電気科	2	1	1	117
電子科		1	1	119
情報技術科	1	1	1	119
計	5	5	5	
学年別在籍数 (男, 女)	200 (199,1)	201 (198,3)	193 (191,2)	594 (588,6)

(4) 平成26年度 卒業生進路状況

進路先	機械科	電気科	電子科	情報技術科	平成26年度	平成25年度	平成24年度
(1) 就職者数	51	26	27	25	129	142	135
学校紹介による就職	県内	43	19	23	17	102	119
	県外	7	6	3	7	23	17
公務員	0	1	0	1	2	2	4
縁故就職	0	0	1	0	1	3	3
自営	1	0	0	0	1	1	0
(2) 進学者数	28	13	14	15	70	59	61
四年制大学	9	8	5	9	31	25	30
短期大学	0	0	0	0	0	2	0
高専編入学	0	0	0	0	0	1	0
公共職業能力開発施設	4	0	1	3	8	6	6
専門学校・各種学校	15	5	8	3	31	25	25
その他の学校	0	0	0	0	0	0	0
(3) 在家：進学希望	0	0	0	0	0	1	0
(4) 卒業生数	79	39	41	40	199	202	196

2 学科について

【機械科】

ものづくりの基本である工作機械の操作法、溶接・鋳造等による製法、さらには計測技術やコンピュータ等の実践的な実習を行っています。また、CADを含めた機械製図、機械工作、機械設計、自動車工学等の基礎・基本を学習します。



【電気科】

発電や送電など電気を作って送る仕組みや、電気で作るモーターなどの原理・構造や取扱い方を学びます。また、電気を使用するための配線に関することなど主に電力技術の基礎について学習します。



【電子科】

電気に関する基礎・基本を学び、さらにトランジスタ等の電子部品の性質、テレビ等の電子機器、通信機器、コンピュータ、自動制御等の基礎について学習します。



【情報技術科】

コンピュータの仕組みと働きについて学び、コンピュータを使った実習を通して各種アプリケーションソフトの活用法、プログラムの作り方、ロボットの制御などを学びます。さらに電子回路、機械工作等の工業技術を幅広く学習します。



3 本校の特別活動

【福祉教育活動について】

《ボランティア活動》

本校の大きな特色の一つに、20年以上にわたり行ってきたボランティア活動「空飛ぶ車いす活動」があります。平成4年に全国で初めて本校からスタートしました。中古の車いすを修理し、アジアやアフリカに送る活動で、今までに贈った車いすの数はもうすぐ2,000台に届こうとしています。

また、特別支援学校、福祉施設、保育園との定期的な交流活動や、総合的な学習の時間では、1年生全生徒が車椅子の修繕体験を行っています。



タイボランティア(H26年度)

《栃工テクノボランティア活動》

本校では、ものづくり技術を生かして、地域に貢献をする「栃工テクノボランティア活動」を始めました。地域の小・中学校、特別支援学校の教材・教具を修理・製作したり、公共施設の設備修理などを行う活動です。

【部活動について】

平成26年度

[全国大会出場] ソフトテニス部 空手道部 写真部 ロボット研究部
WRO JAPAN2014 出場

[関東大会出場] ソフトテニス部 空手道部 弓道部 電算機部 写真部

平成27年度 (10月現在)

[全国大会出場] 写真部 WRO JAPAN2015 出場 ロボット研究部

[関東大会出場] ソフトテニス部 バレーボール部 空手道部 陸上競技部(やり投げ)

高校生溶接コンクール 高校生ものづくりコンテスト

(電子回路組立部門・電気工事部門)



電気工事コンテスト関東大会第5位入賞
電子科2年 川島優人 君